

一般質問

第3回定例会の一般質問は9月22日に行われ、3名の議員が村政全般にわたり質問しました。

質問項目は右記のとおりです。次ページよりやり取りの一部を抜粋して紹介します。

詳細な内容については会議録の公表をお待ちください。

諸岡 正明 議員 所属：総務経済委員会

- 県道上新田木原線大山地先の整備について
- 美浦村教育振興基本計画について
- みほふれ愛プラザ前三叉路交差点
MihoVisionへ「美浦のとき」(時計)の表示を

林 昌子 議員 所属：総務経済委員会

- 子宮頸がん撲滅への取り組みについて
- 太陽光発電施設の適正な設置・管理について
- 地域公共交通計画について

松村 広志 議員 所属：厚生文教委員会

- 視覚障がい者向けスマホアプリについて
- 耳で聴くハザードマップについて
- 孤独・孤立対策推進について

詳しくは、
美浦村HP

質問 県道上新田木原線大山地先の整備が旧態依然の状態です。ストップし、幅員も狭く、歩道もない状況である。地域住民はじめ村外より訪れる方の利便性の向上、歩行者の安全確保、安中地区地域振興を図るためにも、本路線の整備を進めていただきたい。

答弁 (経済建設部長) 「県道上新田木原線大山地狭小箇所解消の事業化」の要望書を本年6月1日付けで茨城県議会土木企業立地推進委員会へ、県政に対する要望書も本年7月3日付けで関係機関へ提出した。今後も早期事業化に向け、茨城県に要望していく。



諸岡 正明 議員

県道上新田木原線
大山地先整備について



答弁 (村長) 茨城県は計画的に整備中である。村として要望しているが、議会において要望することもひとつの方策につながる。

MihoVisionへ
「美浦のとき」表示を

質問 美浦村民はじめ多くの方に好評を得ているMihoVisionへ美浦の歩みを刻む「美浦のとき」時計の表示を検討願う。

答弁 (総務部長) 今後は時計表示も含め、MihoVisionを住民等への情報発信ばかりでなく、美浦村のランドマークとして有効活用できるよう、さらなる検討を進めていきたい。

その他、本村教育の未来にとって重要な計画である「美浦村教育振興基本計画」について質問した。



一 般 質 問

子宮頸がん撲滅への取り組みについて




はやし しょうこ
林 昌子
議員

質問 毎年1万人以上が罹患し、約2,900人が亡くなっている。キャッチアップ接種対象者が無料で接種できる期間が令和6年度に終了する。

①対象者人数と接種率は。
②16歳〜27歳相当への最終期限のお知らせ通知は。

答弁 (保健福祉部長)

①定期接種対象者213名。1回接種6・10%、2回接種5・16%、3回接種3・29%。キャッチアップ接種対象者606名。1回接種25・41%、2回接種21・21%、3回接種15・38%。

②令和6年度初頭に発送する。

誰も置き去りにしない村づくりへ




まつむら ひろし
松村 広志
議員

耳で聴くハザードマップについて

質問 水害ハザードマップについても「内容を確認するのが難しい」などの意見がある。水防法対応のアプリについて意向を問う。

答弁 (経済建設部長) いまの音声読み上げソフトの活用も促しながら、新たに利用支援を検討していきたい。

孤独・孤立対策推進について

質問 孤独・孤立対策の推進については地方公共団体の責務として、理解の増進や相談支援、人材確保などの施策が求められている。本村の対応を問う。

答弁 (保健福祉部長) 当該の基本理念を踏まえ、国の動向などを注視しながら対策に取り組んでいく。

太陽光発電施設の適切な設置・管理について

質問 県では施設の適正な設置と管理に関するガイドラインを施行している。

①出力50kW未満施設の苦情件数は。
②チェックシートの活用は。

答弁 (経済建設部長)

①施設関係の苦情・相談件数は40件。

②環境省作成の「太陽光発電の環境配慮ガイドラインチェックシート」の活用を考えている。

地域公共交通計画について

質問 計画策定状況は。

答弁 (総務部長) 現在は策定していないが、実現可能な計画策定は必要である。

答弁 (村長) 地域公共交通会議を招集し、良い方向性のものを立ち上げていきたい。

視覚障がい者向けスマホアプリについて

質問 持続可能な開発目標 (SDG S) の理念に則り質問を行う。

視覚障がい者から、自治体ホームページ利用時の使いやすさを求める声がある。近年、情報にアクセスする際に便利な音声によるWebポータルサイトが始まっている。本村の意向は。



答弁 (総務部長) すべての人がWebの情報を利用できるように努め、さらに研究・検討していく。